「公共交通網再編による成果と課題」に関する提言書

本委員会では、令和４年８月に全面的な路線改編が行われた公共交通網の再編による成果と課題について調査検討を進めてきた。

わかりやすく効率的な路線への変更やデマンドタクシー運行エリアの新規追加等の市民要望に応え、公共交通の全面的な改編が行われた。また、同時に重複して運行していた庄内交通バス路線の廃止により、委託料の削減が行われた。

改編による利用者数は、令和５年３月末時点で、るんるんバス、デマンドタクシーともに増加しており、その要因として、るんるんバスについては、曜日限定であった路線の平日運行への変更、合理的な路線への変更、デマンドタクシーについては、新たに運行開始した地域があることが考えられる。さらに、デマンドタクシーについては、既存の地域においても、利用者が増加しており、市民のデマンドタクシーへのニーズが高くなっている現状にある。本市でも、高齢化に拍車がかかっており、今後ますます公共交通へのニーズは高まっていくことが予想され、持続可能で市民にとって利便性の高い公共交通とするため、下記の施策を提言するものである。

記

１　基本的な考え

（１） 常に市民ニーズの把握に努めながら対応すること

（２） 運転手を確保できる体制について検討すること

（３） 観光に対する視点を持った路線について検討すること

２　るんるんバスについて

（１） 広告収入など財源確保に努めること

（２） 先進事例等を参考に、利用者数を増やす工夫に努めること

（３） 路線改編に関する情報提供、周知に努めること

（４） 目的地までの長時間の乗車、バス停における待ち時間について利用者の意見を広く聴くこと

３　デマンドタクシーについて

（１） 乗降場所を増やすよう検討すること

（２） 午前９時30分以前の便の当日予約を可能とするよう検討すること

４　新たな取り組み

（１） 地域に車を貸与し、運行を地域に任せる仕組み（互助輸送サービス等）について、先進事例等の研究に努めること

（２） 八幡、松山、平田のエリアに向かう手段を検討すること